

JIS

配線用差込接続器

JIS C 8303 : 2007

(JEWA/JSA)

平成 19 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 田 哲 治	東京大学
(委員)	池 田 久 利	IEC/SB1 委員 (株式会社東芝 電力・社会システム社)
	石 塚 昶 雄	社団法人日本原子力産業協会
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	香 川 利 春	東京工業大学
	亀 田 実	社団法人日本電線工業会
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	坂 下 栄 二	IEC/ACOS 委員 (技術協力安全センター)
	佐々木 喜 七	財団法人日本電子部品信頼性センター
	佐 藤 政 博	財団法人電気安全環境研究所
	高 橋 健 彦	関東学院大学
	千 葉 信 昭	社団法人電池工業会 (東芝電池株式会社)
	恒 川 真 一	社団法人日本電球工業会 (東芝ライテック株式会社)
	椿 広 計	筑波大学
	徳 田 正 満	武蔵工業大学
	中 村 禎 之	社団法人日本電機工業会
	能 見 和 司	電気事業連合会
	飛 田 恵理子	東京都地域婦人団体連盟
	福 田 和 典	社団法人日本配線器具工業会 (東芝ライテック株式会社 電材照明社)
	村 岡 泰 夫	社団法人電気学会
(専門委員)	安 藤 栄 倫	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 25.3.13 改正：平成 19.10.20

官 報 公 示：平成 19.10.22

原 案 作 成 者：社団法人日本配線器具工業会

(〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町 13-4 第 11 村上ビル TEL 03-5640-1611)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：電気技術専門委員会 (委員長 小田 哲治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類, 極数, 極配置及び定格	4
5 性能	7
5.1 保持力	7
5.2 温度上昇	7
5.3 接触抵抗	7
5.4 開閉	7
5.5 絶縁抵抗	7
5.6 耐電圧	8
5.7 耐熱	8
5.8 ねじ端子部及びリード線の接続部の強度	8
5.9 刃取付部強度	8
5.10 栓刃可動形の回動性能	8
5.11 外郭強度	8
5.12 コード引止部 (コード張力緩和装置) の強度	8
5.13 コード引出部 (コード屈曲性能) の強度	8
5.14 ねじなし端子の性能	9
5.15 アンモニアガス耐久性	9
5.16 引張荷重	9
5.17 防水性	9
5.18 耐燃性	9
5.19 耐湿性	9
6 構造, 寸法及び材料	9
6.1 構造一般	9
6.2 端子	10
6.3 絶縁体	11
6.4 導電金具の材料	12
6.5 非導電金具の材料	12
6.6 刃及び刃受穴の形状及び寸法	12
6.7 埋込コンセントの取付部の寸法	12
6.8 電線貫通孔の寸法	12
6.9 絶縁距離	12

6.10	端子の記号	12
6.11	引掛形及び抜止形差込接続器	13
6.12	防水形差込接続器	13
7	試験方法	14
7.1	構造試験	14
7.2	保持力試験	14
7.3	温度上昇試験	14
7.4	接触抵抗試験	14
7.5	開閉試験	14
7.6	絶縁抵抗試験	14
7.7	耐電圧試験	14
7.8	耐熱試験	14
7.9	ねじ端子部及びリード線接続部の強度試験	14
7.10	刃取付部強度試験	15
7.11	外郭強度試験	17
7.12	コード引止部（コード張力緩和装置）の強度試験	17
7.13	コード引出部（コード屈曲性能）の強度試験	17
7.14	ねじなし端子の引張強度試験	17
7.15	ねじなし端子の曲げ試験	17
7.16	ねじなし端子のヒートサイクル試験	17
7.17	ねじなし端子の耐過電流試験	17
7.18	アンモニアガス耐久試験	17
7.19	栓刃可動形の回動試験	17
7.20	引張荷重試験	17
7.21	防水試験	18
7.22	耐燃性試験	18
8	検査	18
8.1	形式検査	18
8.2	受渡検査	19
9	製品の呼び方	19
10	表示	19
	附属書 A（規定）差込接続器の標準寸法	20
	附属書 B（規定）巻締ねじ端子のねじの寸法	53
	解説	57

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本配線器具工業会(JEWA)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS C 8303:1993** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

白 紙

配線用差込接続器

Plugs and receptacles for domestic and similar general use

序文

この規格は、1993年に改正された **JIS C 8303** を基に、製品規格として内容を見直し、安全に関する規定は **JIS C 8282-1** 及び **JIS C 8282-2-11** から一部引用し、作成した日本工業規格である。

なお、この規格の対応国際規格は、現時点で制定されていない。関連国際標準報告書として **IEC TR 60083**, Plugs and socket-outlets for domestic and similar general use standardized in member countries of IEC がある。

1 適用範囲

この規格は、周波数 50 Hz 又は 60 Hz の交流 250 V 以下の電路で、配線とコードとの接続又はコード相互の接続に使う差込接続器（以下、接続器という。）について規定する。ただし、使用周囲温度は 40 °C 以下とする。

この規格は、パイロットランプ付き、アースターミナル付き、防水形、引掛形、抜止形及び屋内配線用合成樹脂線ぴ（樋）用差込接続器 [以下、線ぴ（樋）用差込接続器という。] を含む。

特に過酷な取扱いを受ける作業所用、防爆形及び床面取付用並びに自動遮断機構付き、タイマ付きなどの特殊用途のものを含めない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0205-1 一般用メートルねじ—第1部：基準山形

JIS B 0205-2 一般用メートルねじ—第2部：全体系

JIS B 0205-3 一般用メートルねじ—第3部：ねじ部品用に選択したサイズ

JIS B 1012 ねじ用十字穴

JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）

JIS C 3301 ゴムコード

JIS C 3306 ビニルコード

JIS C 3307 600V ビニル絶縁電線(IV)

JIS C 3312 600V ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル

JIS C 3342 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル(VV)

JIS C 3612 600V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線

JIS C 8282-1:2007 家庭用及びこれに類する用途のプラグ及びコンセント—第1部：通則